

株主の皆様とのかかわり（日東電工単体）

日東電工は、株主の皆様へ安定的に利益を還元することを方針にしています。

株主の皆様とコミュニケーションを図り、ご意見・ご提案はグループの企業活動に活かしています。

今後はさらに、ホームページでの情報開示を充実させ、株主の皆様とともに歩む企業であり続けます。

配当方針

先行投資を充実させつつ、 バランスに配慮した利益配分を行います

日東電工の配当方針は、「株主の皆様に対して安定的に利益の還元を行う」ことを基本にしており、財務状況、利益水準と配当性向などを総合的に勘案して実施しています。

一方、急速な技術革新への対応と顧客ニーズにタイムリーに応えるために、研究・開発と生産に関わる積極的な先行投資を行っていくことも必要不可欠です。

そこで2006年3月期の株主配当については、年間で1株当たり50円を予定しています。今後とも、こうした先行投資を充実させつつ、株主資本の効率的な運用に努め、バランスに配慮した利益配分を行ってまいります。

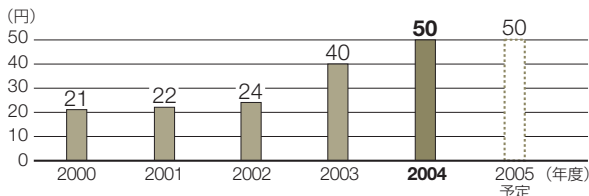
SRI組み入れ状況

2004年度は5件のSRIファンドに 組み入れられています

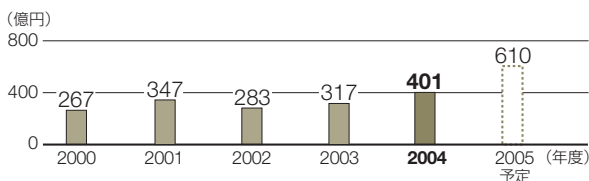
企業の財務状況や成長性だけを評価するのではなく、環境保全やコンプライアンスなど企業の社会的責任を果たすための取り組みを評価するSRI(社会的責任投資)がますます注目を集めており、米国では株式時価総額の10%以上がSRI関連ファンドといわれています。

2004年度における各SRIファンドの運用報告書によると、日東電工は、「日興エコファンド」をはじめ、「朝日ライフSRI社会貢献ファンド(あすのはね)」、「損保ジャパン・グリーン・オープン(愛称:ぶなの森)」、「UBS日本株式エコファンド(愛称:エコ博士)」、「UFJエコ・パートナーズ(愛称:みどりの翼)」に組み入れられています。

■ 1株当たりの配当金



■ 設備投資



株主総会

より多くの株主様のご意見・ご提案を 今後の企業活動に活かしていきます

日東電工の第139回定時株主総会を2004年6月24日、ホテル日航茨木大阪で開催しました。出席株主数は204名で、昨年の165名より大幅に増加しました。

当日ご出席いただけなかった株主様のために2003年度から導入したウェブ上での電子的行使システムによる行使も328名と、昨年の195名から大幅な増加となりました。

また総会後の「株主懇親会」では、取締役・執行役員全員が各テーブルに分かれて株主の皆様と歓談しました。そこでいただいた株主の皆様からのご意見・ご提案は今後の企業活動に活かしていきます。

株主・投資家とのコミュニケーション

今後は、個人株主の方に向けて ホームページでの迅速な情報開示に努めます

日東電工では、株主や投資家・アナリストとのコミュニケーションを実施し、その対話の内容をグループの経営に活かしています。また、グループへの理解をより深めていただくために、アニュアルレポートなどの冊子やホームページなど、さまざまなコミュニケーションツールを充実させています。

現在、株主持株比率は外国人株主が50%近くを占めています。この状況を受け、2004年度は北米・欧州を中心に27社を訪問して、経営の説明を行いました。

また、個人株主の持株比率は比較的低いものの、個人株主数は株主総数の90%超を占めています。そのため、2005年度は、個人株主の方への情報開示を充実させるため、ホームページ上での情報開示をいっそう迅速化していく予定です。



アニュアルレポート

2004年度に実施したコミュニケーション

- 電話会議方式による決算説明会(4、7、10、2月の4回)
- 機関投資家向け会社説明会(5月)
- IR(投資家向け広報)部署での投資家とのミーティング・取材(約280回)
- 社長・役員による海外投資家訪問(北米・欧州中心に計27社)